

平成 26 年度 学校評価 まとめ

評価項目	評価の観点	アンケート集約結果
農業教育を充実させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の必要性や素晴らしさを生徒に伝えることができたか。 ・エコロジカル・アグリハイスクール宣言にみる5つのアクション、10の具体的実践について新たな取り組みができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業をとおしての地域理解や人的交流が盛んに実施され、報道機関等で取り上げられる機会も多かった。また、こうした実践が生徒の自信となるとともに農業に対する興味関心も一層高まったと思う。
資格取得を充実するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が資格取得に興味関心を示し、生徒ひとり一人が二種類以上の資格取得に取り組むことができるように指導することができたか。 ・時間外の講習会や長期休業中の補習を充実させ、合格率8割を目指すと共に、生徒にとって満足いく成果が得られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比較して、資格取得に挑戦する生徒が若干減少した。合格率は資格により異なるが、受験する生徒の努力は感じられる。 ・今後も、生徒が積極的に資格試験に挑戦できる環境作りや指導を継続する。
学習意欲を向上させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲を向上させるため、校外実習や外部講師による授業など、授業内容を工夫し実践することができたか。 ・生徒にとって分かりやすい授業を実践することができたか。 ・また、理解できない生徒に対して事後指導がしっかりできたか。 ・年間を通して曜日のバランスを考え、授業時間数を確保することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業評価」の導入を機に、評価結果を踏まえた授業実践に取り組みを始めている。 ・教科によってはワークシートを作成し、生徒が受け身ではなく主体的に授業に取り組めるような活動を意識して行った。 ・テスト前補習など、Slow learners に対する指導も定期的に行った。
進路希望を実現させるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の生徒の実態に合った計画的指導ができたか。 ・進路が多様化する生徒に対し情報提供が十分できたか。 ・進学希望者に対する教科補習が十分できたか。 ・生徒が希望する進路を実現することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三年生の進路先がほぼ決定した。特に、就職希望者の多くが早い時期に内定をいただくことができた。 ・1・2年生は英・数で朝補習を行っている。参加人数は少ないが、小さな事の積み重ねが大切だと思う。 ・3年生の大学・短大進学予定者に対する、進学後を見据えた学習指導が必要である。
地域を理解し、地域との連携を深めるための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が意欲的に参加し、活動した取り組みであったか。 ・地域の文化を取り入れた内容の活動を行い、地域文化を理解させることができたか。 ・実施した取り組みが、相手や地域の理解と評価を得られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「銀座 NAGANO」での高校生レストランの出店・フラワーアレンジメントコンクール入賞者によるアレンジ教室など新たな取り組みも含め、地域との交流・連携を活発に行った。
基本的な生活習慣を確立するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「身だしなみ」をきちんとする指導の実践ができたか。 ・問題行動を未然に防ぐ予防的指導ができたか。 ・集会の時は迅速に集合・整列し、整然とした集会を実施することができたか。 ・気持ちよい挨拶を習慣づけることができたか。 ・校内外の清掃活動を通して、ゴミの分別を徹底させ、リサイクルの必要性について認識させることができたか。 ・時間のけじめをつけさせ、休み時間の有効活用によるスムーズな授業開始や遅刻をなくす指導ができたか。 ・いじめを許さない学校作りを進め、生徒が発する小さなサインを見逃すことのない指導ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日頃より、機会を設け指導を行っているが、全員がきちんとそろうところまではできていない。根気強く、長期的な指導を行っていく。 ・便りなどを通じて生徒に訴えている。職員はアンテナを高くし、生徒の僅かなサインも見落とさないよう注意している。 ・アンケートなどの結果、生徒は落ち着いた生活を送り、大きな問題はなかった。 ・遅刻者に対する指導の一つに「連絡カード」があるが、有効活用されていない。活用法の検討が必要である。
課外活動を充実するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が課外活動に積極的に参加し、活動することができたか。 ・個々の生徒が目標とする成果をあげることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種大会に多くの生徒が参加し、例年になくよい成果を上げた。今後も継続的な指導を続けていく。 ・クラブ活動加入率が高く、多くの生徒が目標を持って活動している。 ・インターハイ出場者がおらず、成果の面では今一步である。
安全教育を推進するための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・安全教育に対する研修の機会を設け、それに参加することができたか。 ・あらゆる場面で、生徒の安全を意識した教育活動を実践することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春・秋の交通安全週間にあわせ、交通安全委員会による全校生徒への呼びかけを実施することができた。